

平成 26 年度 第 1 回 磐田市遠江国分寺跡整備委員会 議事要録

1. 日 時 平成 26 年 9 月 3 日 (水) 15:30 ~ 17:00
2. 会議場所 磐田市役所 (本庁舎) 4 階 第 2 会議室
3. 出席者 整備委員: 12 名
上原真人委員長、山下晃副委員長、石上英一委員、箱崎和久委員
中島義晴委員、平野吾郎委員、寺田辰蔵委員、高田正人委員
澤元教哲委員、小杉達委員、水野勲委員、鈴木誠委員
- 助 言: 静岡県教育委員会文化財保護課 日吉淳指導主事
事 務 局: 飯田教育長、鈴木教育部長、文化財課=大箸課長、村松課長補佐
竹内調査グループ長、安藤主査、富永副主任
- 傍 聴 者: 1 名

4. 会議要旨

- (1) 開会
- (2) 磐田市教育長あいさつ
- (3) 静岡県教育委員会あいさつ
- (4) 整備委員会委員長あいさつ
- (5) 議 事

[1] 平成 26 年度事業予定について (事務局説明)

発掘調査

- ・ 7 月下旬から僧房跡・講堂跡・南大門跡等、約 40 m²の補足調査を実施。現地調査は今年度が最後
- ・ 僧房跡では基壇の版築が確認され、木装基壇の縁と考えられる部分を検出
- ・ 講堂跡では基壇のコーナー部分を検出
- ・ 調査中に現地説明会を開催 (9 月 21 日実施)
- ・ 今年度も発掘調査概報 (「発掘調査のあらまし」) を作成・刊行

整理作業

- ・ 平成 27 年度の発掘調査報告書を刊行に向けて、資料の整理作業を実施中
- ・ 整理業務一部を業務委託で実施予定
- ・ 平成 18 年度の金堂跡の発掘調査で取り上げた木装基壇の炭化材について、カビ等の発生や劣化が見られるため、保存処理を専門機関に委託して実施中

その他

- ・ 昨年度保存処理した鉄製品 (昭和 26 年調査出土) が、扉に打たれた釘を隠す「唄金具 (ばいかなぐ)」であることが判明、また鉄製のものは古代のものとしては全国初であることがわかったため、新聞等で報道され、国分寺まつりや夏の企画展で公開
- ・ 今年度も社会科副読本として『遠江国分寺』を中学 1 年生及び 1 年生の教員用に印刷
- ・ 整備基本計画に相当するものを職員でまとめる
- ・ 再整備のイメージ画作成や概算整備費用の積算を専門業者に委託して実施予定
- ・ 整備委員会と整備専門委員会を年 2 回開催

(特に質疑なし)

〔 2 〕 整備基本計画素案について
素案の概要について事務局から説明

『遠江国分寺跡整備基本計画（仮）わたしたちの国分寺公園』

- 第 1 章 基本計画の策定にあたって
- 第 2 章 遠江国分寺をめぐる環境
- 第 3 章 遠江国分寺跡に関する調査研究
- 第 4 章 現状把握のための基礎的調査
- 第 5 章 特別史跡指定地内の調査結果の概要
- 第 6 章 全体計画
- 第 7 章 再整備の概要

基壇整備

主な建物の基壇（土台部分）を「木装基壇」として復元・表示する。

（現在は石積み基壇を想定し、縁石で表示）

中門や南大門は土盛りで表現する。（基壇がわからないため）

遺構表示

塔は失われている礎石を復元する。また、基壇の上面（建物範囲）には埴^{せん}（古代のレンガ状の焼き物）を敷く。

塔の階段は木製階段を復元する。

金堂も建物範囲は埴^{しゅみだん}を敷き、須弥壇（仏像が置かれていた土台の部分）は色を変えるなどで表示する。

金堂の石階（石段）は風化しやすいことから、露出展示せず盛土上に復元する。

回廊も建物部分は埴敷きにする。

木製燈籠を擬木で復元する。（柱部分のみ擬木も考えられる）ただし、

金堂でイベントができるように燈籠は取り外しが可能なものとする。

（柱の径は約 50 cm。）

樹木・植栽

塔や講堂などにある樹木のうち、遺構に影響を与えているものは伐採する。

遺構に影響を与え景観も悪い回廊のツゲや西側のサンゴ樹は伐採する。

正面（南側）からの眺望を阻害している梅は整理する。

雑木林になっている樹木を整理する。

花壇を整理し北西部などに配置する。万葉の植物園や薬草園にすることを検討する。

導入部分やガイダンス施設等の整備

主たる入口は南側とし、南大門南側は緩衝地帯として、芝生広場とする。
本庁舎に展望室を設けることを検討する。

旧収蔵庫は撤去し、トイレを兼用したガイダンス施設の設置を検討する。

休憩施設として、掘立柱風の建物を四阿^{あづまや}として設置することを検討する。

遺物収納設備の再構築...埋蔵文化財センター第2収蔵庫を改良し、国分寺専用収蔵庫として再整備する。

都市公園としての整備

排水対策

歩道設置...車イス対応

ソフト整備

サイン・看板整備

案内看板設置計画

パンフレット製作

< 質疑応答、意見 >

委員 前回の委員会で、文化庁との協議の中で、AR 事業（現地でスマートフォン等によりその建物の復元映像などが見られる機能）を進めていって欲しい、という内容があったが。

事務局 今回の資料は文化庁へもっていったときの内容となっている。整備委員会で意見をもらって修正していきたい。

委員 夢とかロマンを話なので、シンボリック的なものは一つ欲しいのではないかと思うが。

事務局 当市の総合計画の中の実施計画の中で、この国分寺跡の整備計画は重要施策の位置づけになっている。6章7章の部分の内容が乏しいという指摘があったので、もう少し工夫をしていきたい。それから整備イメージ図の作成や整備の積算をして、より具体的な内容になるように今後工夫をしながら、次回にはより具体的な内容を示していきたい。

委員 是非遠慮せずに、大胆にはやるべき。それができる、できないという問題ではなく、それに向かってこの国分寺跡をどう整備していくかっていうのを、百年かかってもやればいい話。計画というのはそういうものだと思う。

委員 磐田は奈良時代以来の大変重要な都市景観を作るというモデルになったようなところなので、ぜひそうした内容を2章に盛り込んでいただきたい。

委員 AR 事業については、建物を建ててまちがったところがあっても AR なら直せるのでよいと思うが、どの程度の効果があるのかわからない。一度、長岡京（京都府向日市）などの例を見てきてほしい。

委員 AR は映像が画面に現れるので大変便利なものといえるが、スマートフォンを使わない人は見ることができない。

委員 史跡公園なので1300年前の様子がどういう状態であったということが分から

ないといけない。AR は携帯電話やタブレットを使わない子どもやお年寄りには向かない。そうした人たちにわかってもらうためにはどうしたらよいか、ということだと思う。またそうした人たちはバスで来るので、トイレは男女5人分ずつでも小さいと思う。

委員 ガイダンス施設（資料館）の話がいつの間にか消えてしまったが、この庁内に展望室を設けてほしい。市役所から国分寺跡を見ることができるのも珍しいし、景観もよい。都市の中の公園の広さを感じることもできる。

委員 お金をかけないとできないと思うが、遠慮してしまうとできない。遠慮せずに市民の思っていることをきちっと伝えていくことをしてほしい。ドイツでは100年かけて都市の再興をやっている。それと一緒に、築地塀も市民が参加していっしょに作っていくこと大事な事だと思う。

委員 築地塀を皆で叩いて作っている例はいくつかある。

委員 ガイダンス施設は検討ではなく、ぜひ推進してほしい。

事務局 整備基本計画に盛り込んだものは、原則やらなければいけないので、必ずできることを盛り込むことになる。整備委員会だけでなく、国・県とも了解してもらう必要がある。市役所内でも合意が形成されていないといけない。この3つの合意が柱となって、事業が推進されていかなければいけない。それを踏まえてこの整備基本計画に何を盛り込むかというのを議論してほしい。

委員 庁舎を利用した展望室という話はでていても、庁内の了解が得られていないのが現状で、ガイダンス施設も同じということか。

事務局 展望室は、今後庁舎のリフォームとか建て替えとか、そういったことがある場合に、それを意見として出すといったようなことで解決策になるかもしれないが、今の段階では難しい。

委員 この基本計画で取りあげないといけないのはどの部分か、というのを明確にする必要がある。それと遠江国分寺の整備で極めて重要なのは、第2回目（再整備）だということで、事実として昭和40年代の整備ってというのはこういうものだったってことを、しっかり汲みとり、それを反省材料として見てあげないといけない。

委員 今回の発掘調査ですごい発見があるので、特別史跡であるということが分かるように整備をするんだということを、強調してよいと思う。

委員 過去にどういう整備をしたか、何故再整備をせねばならないのか、その辺りは書かないと話の流れとしておかしいことになるので、それは是非章立てを変えて記載してほしい。

事務局 先ほどの長岡京のARと、鎌倉市に中世寺院の木装基壇の整備事例があるので、事務局で見るようにしたい。整備のシンボルを、という意見もあったが、具体的な間取りがわかるものがないため、建造物の復元は計画に入れていない。

委員 門もだめか？

事務局 中門も南大門も基壇が分からない。昨年東門の想定地を掘ったが、基壇が残っていなかった。築地塀も西側以外は基壇が残っていない。

委員 西側の築地塀は残りが良いので、一応構造はわかるので、あれを元にして他のところで築地塀を造るのは可能といえば可能。

委員 市民が参加してこの公園を作っていくっていう意識作りを、築地塀でできれば

と思う。

委員 築地堀は、東側が天平の道からのアプローチなので、ここから国分寺だよという事で築地堀があってもいいのかなという気はちょっとしている。

委員 今回の発掘調査で昭和 40 年代の整備にいろいろな問題があることがわかったが、一方で木装基壇が見つかったり、観音様みたいな塑像が出てきたり、墨書土器が出てきたり、いろいろな発見がある。そういうことによって、本当の国分寺の姿をやっと明らかにすることができるようになった。これが特別史跡だということをアピールできるし、これから新しいものを作り出すと基本計画に画いていただければ、と思う。それが、市民参加につながると思う。

事務局 素案について、もう少し整理をして、的確な指示がいただけるようにしていきたい。